

[illegible]

打合せ事項、対策・合意事項等

4. 汚水管きよ

①雨天時に巡視を実施し、管布設位置が自動車のわだちに近しい箇所、水溜りが多く見られたとの報告を受けた。

②道路陥没リスクが高い箇所の巡視・点検は、平成 29 年度に実施された管路調査結果に基づいて、浸入水があるとされる 3 路線を対象とし、平成 29 年度の調査結果と同様に、3 路線で継手のズレを確認したとの報告を受けた（H29 年当時と変化なし）。

⇒ 汚水管きょ調査に関する①、②の報告説明を了承し、今回調査箇所の手継ぎ種別を確認することと、浸入水があるとされる箇所のうち、ピンポイントの修繕で修繕可能な箇所のリストアップを要請した。

5.終末処理場

①流入水量は、降雨の影響を受け雨天時には流入水量が増加しているとの説明を受けた。

②放流水質は、全水質項目において、目標値を満足したとの報告を受けた。

③6 月度は、大きな故障等は発生していないとの報告を受けた。

④脱水ケーキ発生量は、3,009kg であり、先月分と合わせて5,220kg を住友セメントへ搬出したとの報告を受けた。

⑤修繕推奨リストは、「先月分から変更なし」との報告を受けた。

⑥場内の樹木の枝が、管理棟の窓に当たったり、道路にはみ出る程に大きくなっており、台風等の強風時に危険だと思われるので、枝等の一部伐採が必要であるとの報告を受けた。

⇒ ①～⑥の報告、説明を了承した。⑥については、現地を確認し建設課内で検討する旨をCPSに伝えた。

6. クリーンセンター横浪

①浸出水処理施設の放流水質は、全測定項目で基準値を満足したとの報告を受けた。

②6月にダイオキシン検査を行ったが、検査結果は7月に提出するとの説明を受けた。

③リサイクルプラザ施設棟の複数箇所の雨漏りについて、須崎建工により調査を実施し、調査結果を受けて、屋根修繕を修繕推奨リストに追加したとの報告を受けた。

⇒ ①～③の報告、説明を了承した。

7.漁業集落排水処理施設

①6 月度の保守点検結果の報告を受けた。

②中ノ島地区浄化槽内の移行管修繕について、維持管理業者から提出された見積り内容を精査中の説明を受けた。

⇒ ①～②の報告、説明を了承した。

(次項へ続く)

打合せ事項、対策・合意事項等
8.雨水ポンプ場
①6月度の保守点検結果の報告を受けた。
②保守点検の頻度に関して、要求水準書では、単に奇数月と偶数月で分けて記載されているが、降雨量の多い季節には頻度を増やす等、季節に応じた頻度とすることを提案し、次回定例会にて点検スケジュール案を提示するとの説明を受けた。
③修繕推奨リストは先月と変更ないが、絶縁抵抗が低下している機器については、早めの対応をお願いしたいとの依頼があった。
⇒ ①～②の報告、依頼を了承した。③については、既決予算内で対応可能なものは対応する旨を伝えた。
9.附帯・任意事業について
・終末処理場の防災拠点化について、後日、地震・防災課に備蓄検討場所の確認を受けるよう依頼があった。
⇒ 依頼内容を了承し、地震・防災課が現地確認をすることとした。
10. チェックリストについて
・四半期のチェックについて、1回目は7月に行う旨の説明を受けた。
⇒ 説明を了承した。
11.その他連絡事項
・次回定例会の日程調整を行った。
(以上)

須崎市公共下水道施設等運営事業

モニタリング定例会資料

(令和 2 年 6 月度)

令和 2 年 7 月 21 日

須 崎 市

 株式会社クリンパートナーズ須崎

【 目 次 】

1	出席者	1
2	開催場所、日時	1
3	セルフモニタリングについて	2
4	経営のモニタリング結果（令和2年6月度）	3
4.1	財務管理.....	3
4.2	第三者委託.....	3
4.3	内部統制.....	3
4.4	情報公開.....	4
5	維持管理のモニタリング結果（令和2年6月度）	5
5.1	汚水管渠.....	5
5.2	終末処理場.....	13
5.3	クリーンセンター横浪.....	15
5.4	漁業集落排水処理施設.....	17
5.5	雨水ポンプ場.....	19
6	附帯、任意事業について	21
6.1	終末処理場の防災拠点化.....	21
7	その他連絡事項	22

1 出席者

団体	所属	出席者
須 崎 市	建 設 課	4 名
	環境保全課	2 名
	農林水産課	1 名
株式会社クリンパートナーズ須崎 (CPS)	取締役	6 名
	企画管理部	
	調査計画部	
	施設管理部	

2 開催場所、日時

場所：須崎市役所 会議室

日時：令和 2 年 7 月 21 日（火）14 時～

3 セルフモニタリングについて

今月の CPS によるセルフモニタリングは、主に以下の内容について行った。

(6 月度の確認チェックリストは末尾に添付)

また、6/15 に行ったセルフモニタリングにおける主な確認内容を次項以降に記載した。

表 3-1 セルフモニタリング確認表 (R2 年 6 月度)

種別	項目	6月度確認チェックリスト項番
経営	第三者委託	1-3、1-5
	財務状況	1-6、1-7、1-8
	内部統制	1-11、1-13
	情報公開	1-16
維持管理	リスク管理	2-2、2-3
	污水管渠維持管理	2-13
	終末処理場	終-4、終-5、終-6、終-7、終-8、終-10
	漁集処理場	漁-1、漁-2、漁-3、漁-4、漁-5、漁-6、漁-10
	クリーンセンター横浪	CC-4、CC-5、CC-6、CC-7、CC-9
	雨水ポンプ場	雨P-1、雨P-2、雨P-6、雨P-7、雨P-8、雨P-11
附帯、任意	地域貢献	3-4

4 経営のモニタリング結果（令和２年６月度）

4.1 財務管理

【要求水準書要点】

「事業の安定性、継続性を保つための資金調達方針と資金確保状況、収支見通しの適切性」

1) 収支結果（令和２年６月度）

６月度の収支実績は、４回/年に分けて振込まれる利用料金月額分を見込まない金額で取りまとめている。

4.2 第三者委託

- ・第三者委託として、ストックマネジメント計画策定業務について３社見積を取り、最低価格の会社（NJS）と契約手続を進めている。

4.3 内部統制

【要求水準書要点】

「業務の有効性、効率性、法令順守、資産の保全に関する監視状況」

1) CPS の新型コロナウイルス対策（前月同様）

CPS が行っている主な新型コロナウイルス対策としては以下の通りである。

- ・維持管理を担う社員の居室を１Ｆと２Ｆに分けて感染リスクを分散する。
- ・ミーティング時には社員間の距離を確保する。
- ・居室入り口に消毒液を設置し小まめに使用する。
- ・フェイスシールドをマンホール内点検時、処理場点検時に装着する。
- ・夏場を迎え現場では熱中症発生も予想されるため、屋外で人との十分な距離を確保でき、下水、ごみ等に直接対峙しない場合には、適宜マスクを外し休憩することで熱中症予防対策とする。

2) 維持管理要員の配置について

- ・現在、CPS社員６名で、汚水管渠、終末処理場、浸出水処理施設、漁業集落排水処理施設に対して日々の維持管理業務を行っている。（リサイクルプラザ業務は４名で対応）

特に、社員の急な病欠等で日々の業務が滞る状況が見られたこと、今後、雨水ポンプ場の点検管理業務において、四国ポンプセンターからの引継ぎ期間が終了することも含めて保守点検要員の配置を検討する必要がある。

3) 法令順守

- ・現段階において法令に違反するような事項は確認されていない。（就業表にて労基法違反等がないか確認）

4.4 情報公開

【要求水準書要点】

「業務執行体制、収支、環境対策、地域貢献、経営、維持管理に関する分かり易い情報の公開」

- ・ ホームページに過去の定例会の概要（議事録）、施設の維持管理状況（放流水質等）をアップしている。

5 維持管理のモニタリング結果（令和2年6月度）

以下に、令和2年6月度における維持管理状況のモニタリング結果を示した。

確認はチェックリストにより行い、確認資料の抜粋編を以下に記載した。

※点検管理内容の詳細は、別添の各施設管理月報、日報資料参照

5.1 污水管渠

污水管渠の維持管理として、当面は主に、平成29年度に実施された污水管渠劣化調査結果を基に、以下の対象箇所の点検調査を優先的に行う。

表 5-1 点検・調査集計表

①道路陥没リスク			②管渠閉塞リスク			③-1影響度の大きい管路 (幹線管渠)			③-2影響度の大きい管路 (県道下管渠)			④腐食環境下路線 (急勾配直下管渠)		
路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長	路線番号	管種・管径	延長
1-0-2	HP600	10.76	5-0-13	VU200	63.45	1-0-2	HP600	155.9	5-1-3	HP250	47.55	5-6-1-1	VU200	16.35
5-0-11	VU200	52.5	5-0-13	VU200	48.05	1-0-2	HP800	99.25	5-1-4	VU200	40.55	5-5-2	VU200	22.7
5-0-1bs	VU200	24.9	5-0-1bs	VU200	33.9	1-0-3	HP600	25.35	5-1-5	VU200	23.7	5-5-5	VU200	64.4
5-0-1cs	VU200	29.95	5-6-1-1	VU200	48.95	1-0-3	VU600	28.7	5-1-6	VU200	142.45	5-5-7	VU200	37.8
5-1-2	HP250	64.55	5-6-3a	VU200	23.05	5-0-1a	VU300	56.1	5-1-1-1	VU200	78.15	5-5-8	VU200	39.9
5-0-2bs	VU200	24.95	5-7-1b	VU200	96.95	5-0-1b	VU300	60.05	5-1-4-1	VU200	64.35	5-5-9	VU200	33
5-0-2cs	VU200	35.25	5-8-1	VU200	32.2	5-0-1c	VU300	60.15	5-1-4-3	VU200	102.45	5-5-3-2	VU200	44.2
5-2-1-1a	VU200	12.85	5-9-3	VU200	26.55	5-0-1d	VU300	64.05	5-1-4-2	VU200	38.15	5-5-3-3	VU200	113.6
5-0-6-cS	VU200	30.85	5-9-4	VU200	61.55	5-0-2a	VU300	6.65	5-2-1	VU200	35	5-5-5-2	VU200	37.95
5-9-8-1	VU200	18.1	5-9-4-2	VU200	13.05	5-0-2b	VU300	52.55	5-2-2	VU200	80.35			
5-9-1-1	VU200	32.4	5-5-3	VU200	11.7	5-0-2c	VU300	58.15	5-8-1	VU200	64.15			
5-9-5-1-1a-1	VU200	33	5-5-4	VU200	13.55	5-0-3	VU250	38.05	5-4-1a-1	VU200	61.5			
5-11-1	VU200	36.95	5-5-6	VU200	64.2	5-0-4	HP250	38.35						
5-11-4a	VU200	26.3	5-5-10c	VU200	17.65									
5-11-4b	VU200	25.7												
5-11-3-1	VU200	30.6												
5-5-10a	VU200	18.35												
5-5-3-1-1	VU200	33.85												
5-5-3-4	VU200	10.85												
5-5-4-1b	VU200	17.5												
延長計		570	延長計		555	延長計		743	延長計		778	延長計		410

※1: ①、②は、H29年度実施の污水管渠劣化調査結果より集計。

※2: ③、④は、H30年度事業計画図書等より集計。

※3: 延長は、人孔間延長を計上し、①～④で重なる部分は若い番号（優先度高）で計上。

1) 大雨時の巡視

・対象箇所

日降水量 100mm 以上（年 4 回程度）を目安として降雨後に道路陥没リスクの高い箇所を巡回し、陥没の兆候がないかを確認する。（以下、平面図参照）

6 月度においては、日降水量が 100mm を超える日はなかったものの、6 月 10 日から 11 日にかけて、日降水量 74mm（気象庁データ）であり、翌 6 月 11 日も終日降雨（日降水量 28.5mm）があったことから、降雨時の道路状況を確認するため、道路陥没リスクの高い箇所の巡視を実施した。

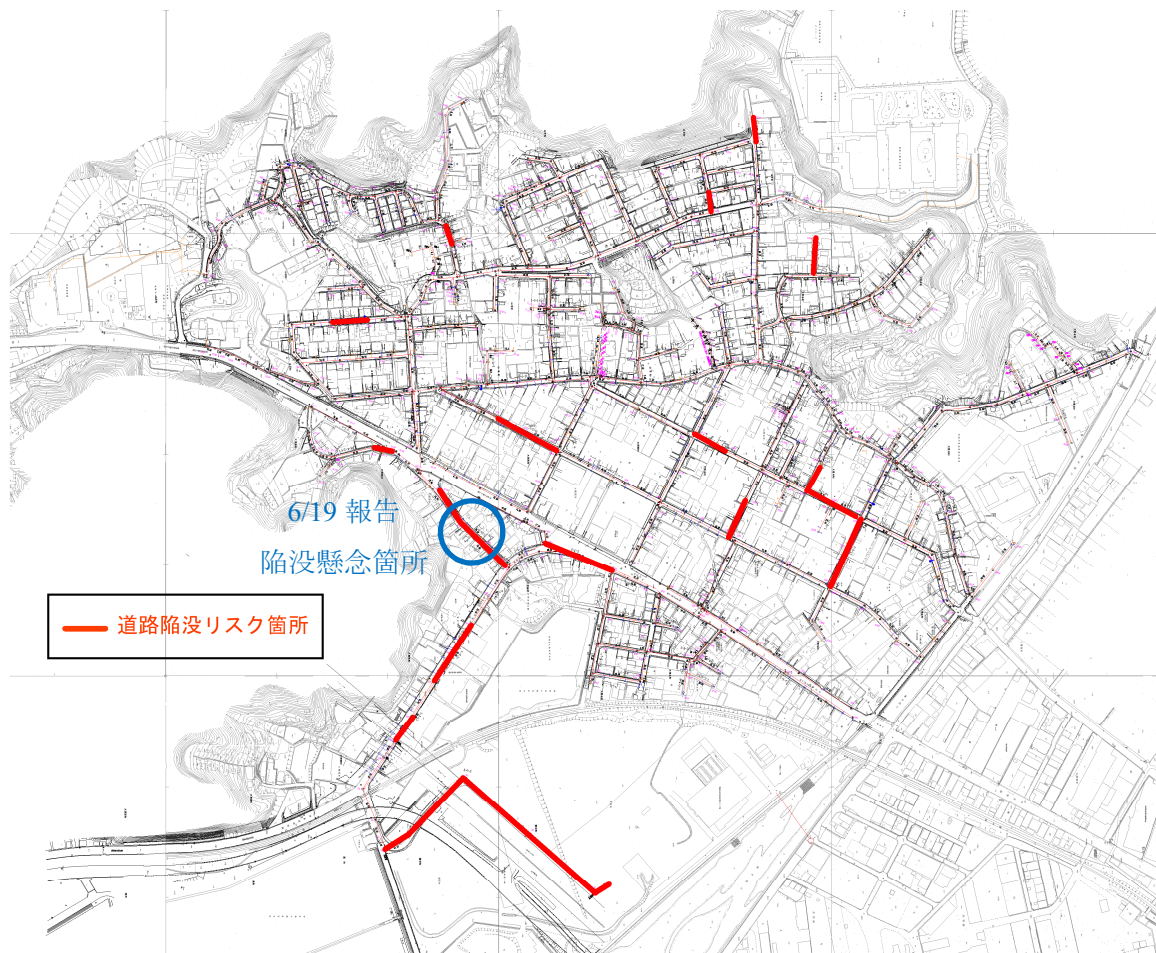


図 5-1 全体平面図

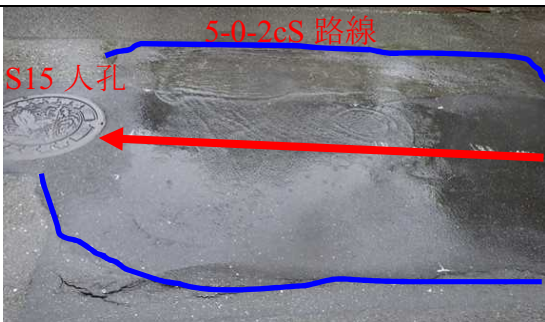
・巡視結果（特記事項）

降雨時における道路陥没リスクの高い箇所の巡視を行い、路線上の道路復旧跡に水溜りが多い印象であった。5-0-6cS 路線は管位置にわだち掘れがあるためか、路線上で水溜りとなっていた。

また、5-0-2bS 路線は、人孔及び路線上で段差が発生しているため、大きな水溜りとなっていた。
※5 月度モニタリングで報告した小河川天端付近の道路陥没は、復旧されていることを確認した。

・現地写真

巡視の代表地点の写真を次項に添付する。(赤線で対象管路を、青線で水溜りラインを示す。)

5-0-6cS 路線① 	5-0-6cS 路線② 
5-0-6cS 路線③ 	5-0-6cS 路線④ 
5-0-2bS 路線 	S15 人孔付近 
道路陥没箇所① 	道路陥没箇所② 

2) 道路陥没リスク箇所の巡視・点検

・対象箇所

污水管渠及び人孔の巡視・点検として、道路陥没リスクが高いとされる 5-9-5-1-1a-1 路線及び 5-3-4 路線、5-5-4-1b 路線について、6 月 24 日及び 6 月 29 日に実施した。(次項、位置図参照)

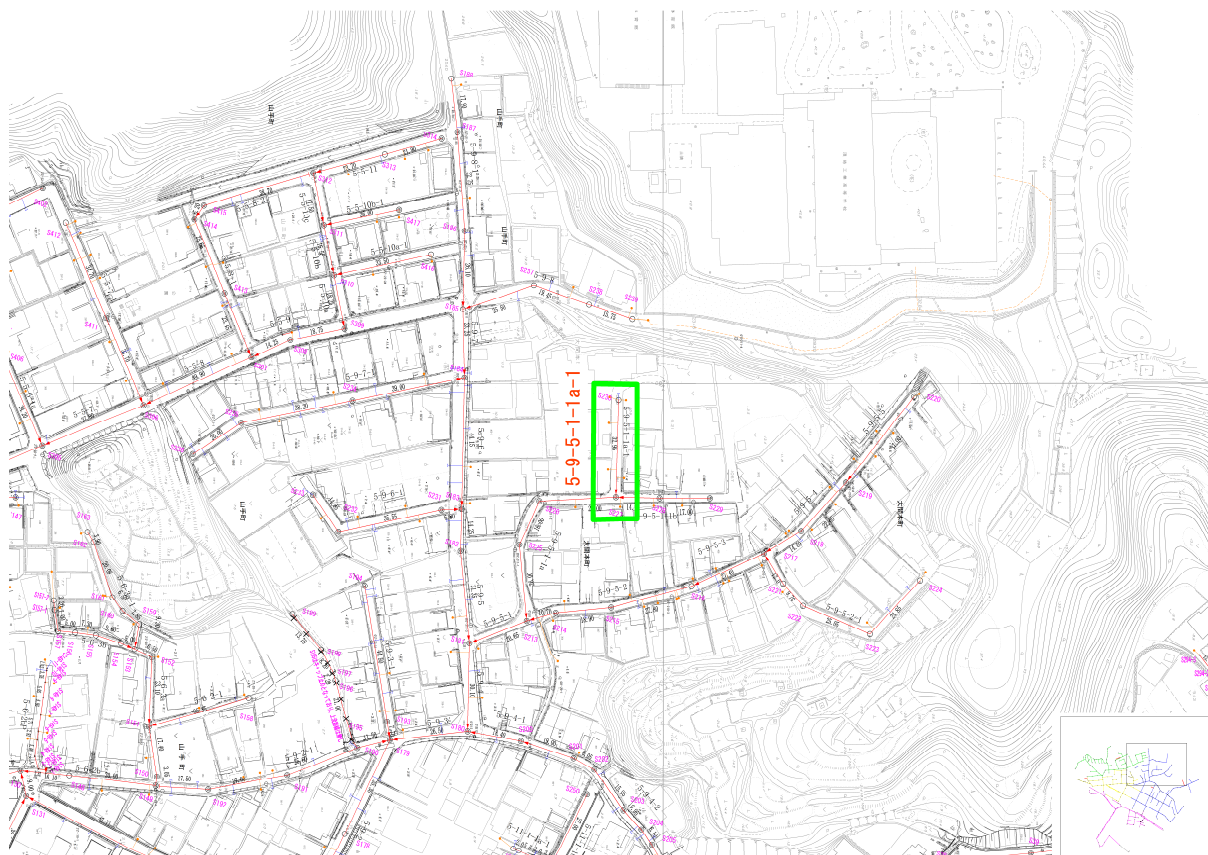


図 5-2 対象路線位置 1/2

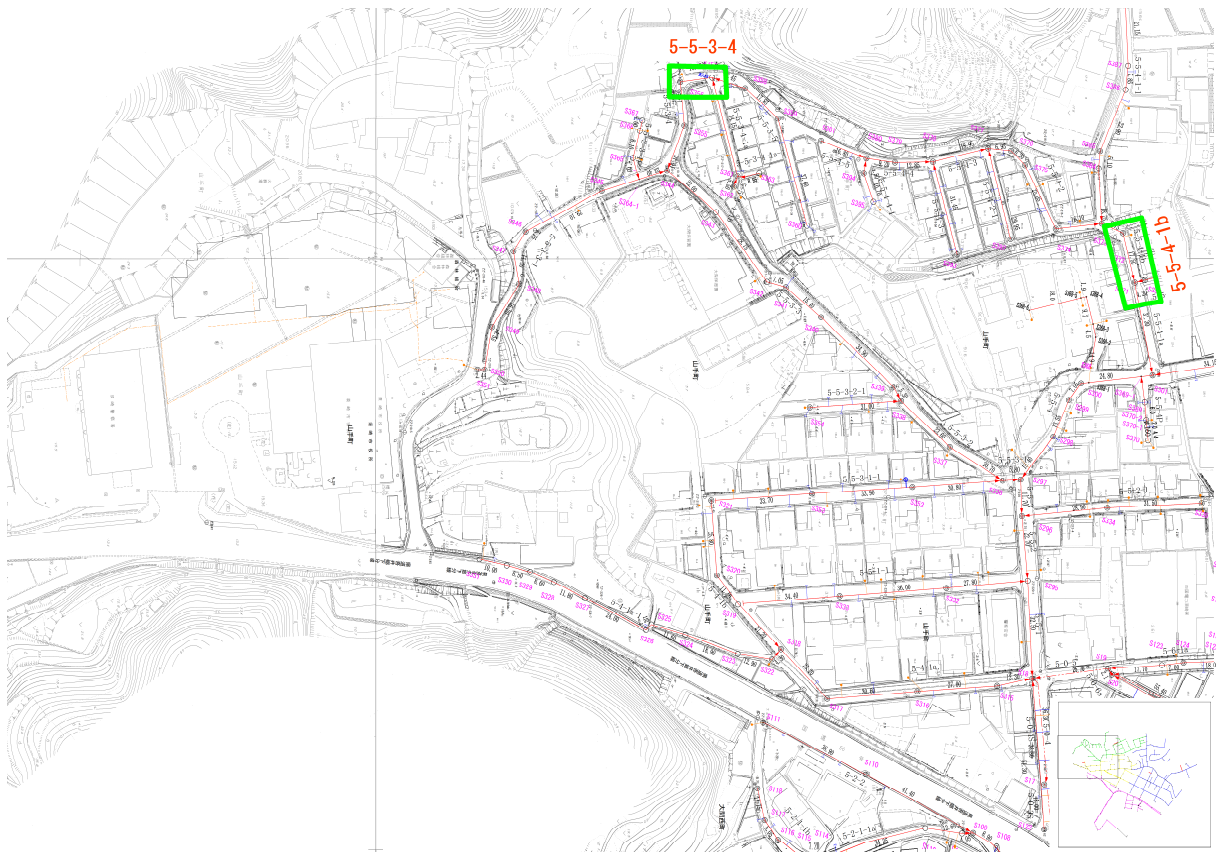


図 5-3 対象路線位置 2/2

- ・点検結果（特記事項）

次項から、巡視・点検の代表地点の写真を添付し、各路線の特記事項を記す。

また、巡視・点検内容は、「下水道維持管理指針（実務編）2014 年版」に基づき、実施した。

路線全体の巡視・点検内容は、月間報告書に整理する。

5-9-5-1-1a-1 路線 S230 人孔	S230-マンホール蓋
	
S230-孔内	S230-西側家屋取付管口ー継手ズレ
	
5-9-5-1-1a-1 路線 S227 人孔	S227-マンホール蓋
	
S227-孔内	S227-上流本線管口
	

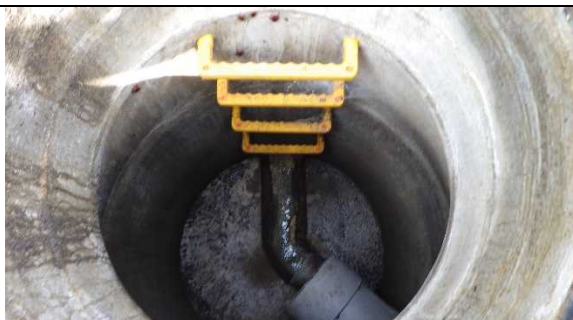
【5-9-5-1-1a-1 路線】

当該路線では、最上流の S230 人孔には取付管が 3 箇所流入しており、その内の西側家屋からの取付管に継手のズレが確認された。また、S227 人孔に流入する本線の継手についても若干のズレがみられる。

5-5-3-4 路線 S357 人孔 	S357-マンホール蓋 
S357-孔内 	S357-上流本線管口ー継手ズレ 
5-5-3-4 路線 S356 人孔 	S356-マンホール蓋 
S356-孔内 	S356-上流本線管口ー継手ズレ 

【5-5-3-4 路線】

当該路線では、最上流の S357 人孔には本線 5-5-3-5 路線を含む 2 系統が流入しており、その内の本線管口で継手のズレが確認された。また、S356 人孔に流入する本線の継手についてもズレが確認された。

5-5-4-1b 路線 S372 人孔 	S372-マンホール蓋 
S372-孔内 	S372-上流本線管口ー継手ズレ 
5-5-4-1b 路線 S371 人孔 	S371-マンホール蓋 
S371-孔内 	S371-上流本線管口ー継手ズレ 

【5-5-4-1b 路線】

当該路線では、S357 人孔には 5-5-4-1b 路線が流入しており、上流側管口で継手のズレが確認された。また、S356 人孔には、本線を含み 2 系統が流入しており、本線の上流側管口で継手のズレが確認された。

5.2 終末処理場

1) 流入水量の状況

今月の流入水量は下図の通りである。平均値が $392\text{m}^3/\text{日}$ 、最大値が $552\text{m}^3/\text{日}$ であった。

なお、最大値を記録した 6/10 は、当日の大雨（日降水量 74mm）の影響を受けている。また、6/18 から流入水量が多くなっているのは、6/18 に日降水量 31mm、6/19 に日降水量 47mm を記録しており、降雨の影響により流入水量が増加していることがわかる。

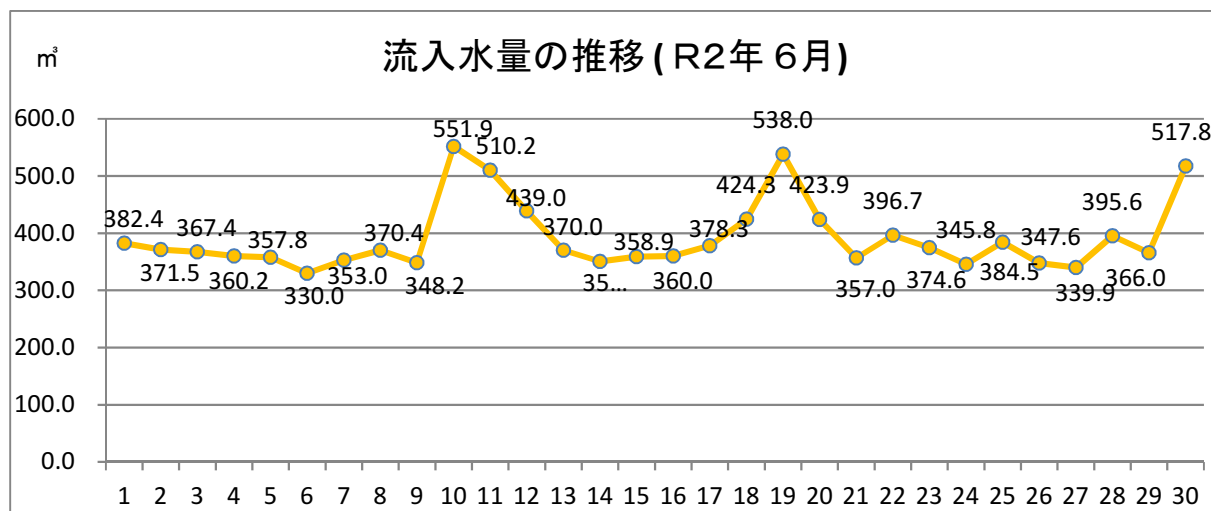


図 5-4 須崎市終末処理場の流入水量

2) 放流水質の状況

目標値としての各水質は下表の通りであり、全項目において目標値を満足していた。

表 5-2 放流水質試験結果

水質項目	目標値	水質試験結果 (6 月水質試験平均値)	備考
pH	5.0~9.0	6.5	
BOD	15mg/ℓ以下	0.8	
SS	30 mg/ℓ以下	5.1	
大腸菌群数	3,000 個/cmℓ以下	0	

3) 維持管理業務について

6 月に行った点検管理の実績表を添付した。

須崎市終末処理場においては特に大きな故障等は生じなかった。

表 5-3 終末処理場の点検管理実績表 1/2 (R2 年 6 月)

日・曜日 項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																													
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火																													
機器 運転	機器点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																													
	運転日報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																													
	汚泥処理・脱水機運転		●			●				●			●				●			●				●			●				●																													
	脱水ケーキ搬出																													●																														
電気 点検	電気点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																													
	汚水マンホール室フラッシング 非常通報装置点検				●							●							●																																									
機 械	機器点検とグリスアップ しき脱水機 No.1-2最終沈殿池(ハ`イプ`スキマ)										●																																																	
	スクリーンユニット (スカベ)点検	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●	●				●	●																													
	汚水スクリーン点検 し渣脱水機点検			●							●							●																																										
	DHSヘッダー管分解清掃			●														●	●				●																																					
	DHSろ床散水、清掃			●																																																								
	自動分析計 ○ DHSろ床処理水 分解洗浄 □ 生物膜ろ過処理				■			●									●																																											
	○ DHSろ床排風ダクト清掃 □ 生物ろ過膜槽のメンテナ				■								●																																															
	固形塩素注入器 点検、補充	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																												
	水 質 分 析	平常試験			●						●																●																																	
		中試験																●																																										
濃縮脱水試験 (月に1回、中 試験と重複しない)													●																																															
備 考	・濃縮脱水試験は、月毎に1度実施する。供給汚泥濃度、脱水ケーキ含水率は、脱水時毎回実施。																														・第一水曜日実施:機器点検とグリスアップ○しき脱水機○No.1-2最終沈殿池(パイプスキマ)																													
	・DHSろ床散水ヘッダー管分解清掃は、週2回、適宜汚れ具合で実施する。																																																											

※1：6月の脱水ケーキ発生量は、3,009kgで、先月分と合わせて大阪住友セメントへ5,220kg搬出。

4) 機器の点検結果による考察

- ・土壌脱臭ファン運転時に異音があり、前回修繕から6年以上経過しているため、更新を推奨する。
- ・No.2床排水ポンプはこれまで修繕、更新履歴がなく老朽化が見られ、大雨時に故障となった場合に地下管廊水没の恐れがあるため、更新を推奨する。
- ・No.1・2ろ過水ポンプのグラント部から水漏れが発生している。メーカーによる点検、補修を推奨する。

上記点検結果を踏まえ、修繕推奨機器リストを添付した。

表 5-4 修繕推奨機器リスト (須崎市終末処理場)

委託業務の名称		令和2年度 須崎市終末処理場運転維持管理等包括的民間委託業務 修繕推奨項目				2020年7月13日改定	1/1
提案日	件数	緊急度	対象箇所	件名	完了日	備考	
令和2年5月20日	1	A	土壌脱臭ファン	分解整備、モーター更新			
令和2年5月20日	2	A	No.2床排水ポンプ	更新			
令和2年5月20日	3	B	No.1、2ろ過水ポンプ	更新or運用変更			
備考	緊急度の判定基準						
	S：不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの						
	A：不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく1年以内を目処に実施を要求するもの						
	B：水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後2～3年以内に実施を要求するもの						
	C：直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、5年程度内に実施を要求するもの						

5.3 クリーンセンター横浪

1) 浸出水処理施設の放流水質の状況

毎月1回の水質検査結果は下表の通りであり、全項目について基準値を満足している。

6月にダイオキシンの検査も実施したが、7月に検査結果が出るため、次回報告とする。

表 5-5 浸出水処理施設の放流水質の試験結果

水質項目	基準値	水質試験結果
pH	5.0～8.6	7.5
BOD(mg/L)	20mg/L以下	1.0
COD(mg/L)	20mg/L以下	2.6
SS(mg/L)	30mg/L以下	<1
T-N(mg/L)	20mg/L以下	5.7

※同時に原水のカルシウム、地下水の塩化物イオン濃度も測定しているが、異常値は確認されていない。

2) 維持管理業務について

5月に行った点検管理の実績表を添付した。

表 5-6 クリーンセンター横浪運転管理実績表（R2年6月）

日・曜日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
		項目	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
機器 運 転	運転日誌	●		●		●			●		●		●			●		●		●			●		●	●					●		
	機器点検日誌	●							●							●							●								●		
	第一モニタリング井戸ポンプ 自動運転 開始	●							●							●							●								●		
	第一モニタリング井戸ポンプ 自動運転 停止					●							●								●						●						
	第一凝集沈殿槽汚泥引抜ポンプ 手動運転(5分)	●							●							●							●								●		
	機器切り替え																														●		
	非常放流各弁開閉(遮断弁・仕切弁・調整槽上部)	●																															
	固形塩素注入器 点検、補充	●				●			●				●			●		●		●			●		●	●				●			
	凝集助剤溶解装置 ストレーナ分解清掃													●																			
	水 質 分 析	水質分析週報												●																			
水質分析月報																										●							
pH計点検						●														●													
第一混和槽pH計洗浄		●		●					●				●			●		●					●			●					●		
そ の 他	遮水シート確認												●			●							●		●	●					●		
	場内外清掃			●								●	●					●															
	場内外草刈																																

3) 修繕推奨項目表

6月の点検結果を受け、修繕推奨機器リストを作成した。

なお、5月度に、リサイクルプラザ施設棟の屋根に複数の雨漏りがあり、漏電等の電気事故発生が懸念されるため、雨漏り箇所の調査、補修についてリストアップした。

これを受けて、6月26日に須崎建工に調査を依頼した結果、施設棟屋根の雨どいに穴が見られるため、まず、この不具合箇所を補修して様子を見ることとなった。

表 5-7 修繕推奨機器リスト（クリーンセンター横浪）

委託業務の名称		令和2年度 須崎市クリーンセンター横浪運転維持管理等包括的民間委託業務 修繕推奨項目			2020年7月13日改定	1/1
提案日	件数	緊急度	対象箇所	件名	完了日	備考
令和2年6月21日	1	S	リサイクルプラザ施設等屋根	雨漏り調査、補修		6/26須崎建工調査
令和2年6月21日	2	S	No.1第一調整槽水中攪拌機	分解整備or更新		
令和2年5月20日	3	S	日報作成装置	不良箇所修理(システム更新)		
令和2年5月20日	4	S	給水ユニット	フレッシャー本体、ポンプ部更新		
令和2年6月21日	5	A	遮水シート漏水監視システム	機能診断(機器作動状況点検)		20200610遮水シート漏水監視システム不具合調査報告書参照
令和2年5月20日	6	A	No.2曝気ブロワ	分解整備		
令和2年5月20日	7	A	No.2第二調整槽水中攪拌機	分解整備or更新		
令和2年5月20日	8	A	脱窒槽攪拌機	分解整備or更新		
令和2年5月20日	9	A	No.1原水ポンプ	更新		
令和2年5月20日	10	B	No.2凝集助剤注入ポンプ	更新		
令和2年5月20日	11	B	No.1・2返送ポンプ仕切弁	交換		
備考	緊急度の判定基準					
	S：不具合を生じている、または生じる可能性が高く代替機器等がないため早急に実施を要求するもの					
	A：不具合の可能性があり、水処理・汚水処理に対する影響が大きく1年以内を目処に実施を要求するもの					
	B：水処理・汚泥処理に対する影響があり、今後2～3年以内に実施を要求するもの					
	C：直ちに水処理・汚泥処理に影響する可能性が低く、5年程度内に実施を要求するもの					

5.4 漁業集落排水処理施設

1) 今月の保守点検について

5 地区の対象施設の内、戸島地区を除く 4 地区は 6 月 4 日と 18 日に維持管理を行った。

また、戸島地区については 6 月 24 日に保守点検を行った。

毎月の保守点検内容は、要求水準書に定められている項目を毎月実施し、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

■要求水準書の浄化槽の点検項目（毎月）

- ・浄化槽の維持管理（水質管理、機械管理、配管管理）
- ・浄化槽への薬剤投入
- ・中継ポンプ場の維持管理
- ・機器消耗品、油脂の管理

主要な点検結果は以下の通りである。

表 5-8 点検結果表

項目	点検日	池ノ浦	白浜	蜂ヶ尻	中の島	戸島	備考（適正值等）
放流水 透視度（cm）	6月4日	25	30	25	30	-	20cm以上
	6月18日	25	30	30	25	-	
	6月24日	-	-	-	-	30	
ばっ気槽 溶存酸素（DO）	6月4日	○	○	○	○	-	
	6月18日	○	○	○	○	-	
	6月24日	-	-	-	-	○	
放流水 pH	6月4日	6.2	7.1	7.1	7	-	5.8～8.3
	6月18日	6.2	6.7	6.8	6.7	-	
	6月24日	-	-	-	-	6.2	
消毒薬投入量	6月4日	0.5	-	0.5	0.5	-	
	6月18日	0.5	0.5	-	0.5	-	
	6月24日	-	-	-	-	0.5	

表 5-9 電流値の測定結果

(単位：アンペア)

機器名	点検日	池ノ浦	白浜	蜂ヶ尻	中の島	戸島
原水ポンプ定格電流値		4	2.1	2.3	2.6	2.3
原水ポンプ N01	6月4日	2.7	1.8	1.4	2.2	－
	6月18日	2.5	1.8	1.7	2.1	－
	6月24日	－	－	－	－	2
原水ポンプ N02	6月4日	2.8	1.8	1.4	2.3	－
	6月18日	2.5	1.8	1.7	2	－
	6月24日	－	－	－	－	1.8
調整ポンプ定格電流値		2.2	1.5	1.3	1.7	1.3
調整ポンプ N01	6月4日	1.6	1	1	1	－
	6月18日	1.6	1.1	1.2	1	－
	6月24日	－	－	－	－	1.1
調整ポンプ N02	6月4日	1.6	1	1	1	－
	6月18日	1.6	1.2	1	1	－
	6月24日	－	－	－	－	1.1
放流ポンプ定格電流値		6.4	1.6	1.6	1.7	1.6
放流ポンプN01	6月4日	5.6	1.2	1.2	1	－
	6月18日	5	1.2	1.1	1	－
	6月24日	－	－	－	－	1.2
放流ポンプN02	6月4日	5.6	1.2	1.2	1	－
	6月18日	5.8	1.2	1.1	1	－
	6月24日	－	－	－	－	1.2
中継ポンプ定格電流値				5.8	6.8	6.8
中継ポンプN01	6月4日			5.8	6	－
	6月18日			5.8	5.8	－
	6月24日	－	－	－	－	5
中継ポンプN02	6月4日			5.8	5.7	－
	6月18日			5.5	5.8	－
	6月24日	－	－	－	－	5
ばっ気槽ブローア－N01	6月4日	8.2	2.2	3.5	2.8	－
	6月18日	8.5	2.2	3.5	－	－
	6月24日	－	－	－	－	2.1
ばっ気槽ブローア－N02	6月4日	8.2	2	3.2	－	－
	6月18日	8.5	1.9	3.5	3.4	－
	6月24日	－	－	－	－	1.8
調整ブローア－	6月4日	3	1.6	－	1.8	－
	6月18日	3.2	1.2	1.1	1.2	－
	6月24日	－	－	－	－	1.6

2) 修繕推奨項目

・中ノ島地区の移行管修繕について

これまで、中ノ島地区の処理施設における調整槽と曝気槽を接続する管渠に漏水があると推定され、この塩ビ管の取替工事が推奨項目としてあげていた。

今回、農林水産課より本浄化槽の施工時における図面を入手し確認した所、昨年度に維持管理業者から提出されていた見積書の内容と改修工事内容が変更となる可能性があることが分かり今後精査することとする。

5.5 雨水ポンプ場

1) 今月の保守点検について

以下表のと通りの日程で、各施設の維持管理を行った。

毎月の保守点検内容は、要求水準書（または業務特記仕様書）に準じて行い、後段に添付のチェックリストにより確認を行った。

なお、雨水ポンプ場の保守点検の頻度、時期的な回数に関して、要求水準書では、単に奇数月と偶数月に分けて記載されているが、降雨量の多い季節には集中的に点検を行い、降雨量が少ない冬場には頻度を減らす等、メリハリを付けた内容とすることを検討する。

表 5-10 点検実施日（6月）

機場名	月点検	週点検	週点検	補修点検
大間ポンプ場	25日	—	—	—
公共ポンプ場	25日	—	—	—
須崎ポンプ場	4日	—	—	—
西部ポンプ場	10日	—	—	—
浜町ポンプ場	4日			

表 5-11 各ポンプ場燃料貯蔵状況（6月）

機場名	貯蔵内容	5月		6月(今月)		燃料増減
	屋外タンク(kℓ)	屋内タンク(ℓ)	屋外タンク(ℓ)	屋内タンク(ℓ)	屋外タンク(ℓ)	屋外タンク(kℓ)
大間ポンプ場	10	590	9.2	590	9.2	0
公共ポンプ場	20	820×2	9.5	830×2	9.7	0.2
須崎ポンプ場	10	580	10.1	590	10.1	0
西部ポンプ場	5	820	4.55	730	4.55	0
浜町ポンプ場(自家発電機)	390ℓ	390		390		0

*燃料増減は、月点検時の屋外燃料タンク増減量のみの数値

2) 修繕推奨項目表

6月の点検結果から作成した修繕推奨機器リストを以下に添付する。

表 5-12 修繕推奨機器リスト（各雨水ポンプ場）

機場名	大間ポンプ場				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観
原動機	①	No.3排気温度のバランス不良有り、燃料噴射ポンプ調整が必要です。	C	○	
自家発	②	排気温度のバランス不良有り、燃料噴射ポンプ調整が必要です。	C	○	
	③	温度計故障あり。	C	○	
吐出弁	④	No.3開時、異音あり。グリス交換時期です。	C	○	
放流ゲート	⑤	放流ゲートボックスに腐食、破損あり。修繕が必要です。	C	○	
冷却水ポンプ	⑥	No.1ポンプの絶縁が低下しています。No.1 0.5Ω No.21 100M No.3 100MΩ	B	○	
床排出ポンプ	⑦	絶縁が低下しています。No.1 20MΩ No.2 20Ω	B	○	
機場名	公共ポンプ場				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観
原動機	①	No.3排気温度のバランス不良。燃料噴射ポンプ調整が必要です。	C	○	
	②	No.2・3音調弁固着あり。	C	○	
吐出弁	③	吐出弁水位計故障。腐食に対応した新規水位計の設置が必要です。	C	○	
放流ゲート	④	No.1・2放流ゲート故障、破損あり。修繕が必要です。	C	○	
ポンプ	⑤	No.2 電動ポンプ軸受部、錆多し。修繕が必要です。	B	○	
空気槽	⑥	No.3空気槽ドレン抜き弁固着。修理が必要です。	C	○	
冷却水ポンプ	⑦	No.3 逆止弁機能不全があります。点検整備又は交換を推奨致します。	B	○	
	⑧	絶縁が低下しています。No.3 70MΩ No.4 20M 予備25MΩ	B	○	
高架揚水ポンプ	⑨	絶縁が低下しています。No.1 0.3Ω No.5 0MΩ	B	○	
機場名	須崎ポンプ場				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観
外部設備	①	徐塵機、沈砂掻揚機共にチェーン発錆。塗装(取替)の必要があります。	B	○	
放流ゲート	②	故障 動作不良有り、修繕が必要です。	C	○	
原動機	③	No.2 温調弁一部固着あり。	C	○	
吐出弁	④	No.2 運転時、異音あり。グリス交換時期です。	C	○	
冷却水ポンプ	⑤	No.2 バルブハンドル固着してます。交換の必要があります。	C	○	
	⑥	絶縁が低下しています。No.1 0.6MΩ No.2 0.4MΩ No.3 13.0MΩ	B	○	
機場名	西部ポンプ場				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観
吐出弁	①	No.4運転時、異音有り。グリス交換時期です。	C	○	
原動機	②	No.1・3音調弁固着有り。	C	○	
	③	No.2 給気圧計故障有り。	C	○	
	④	No.3 温調計故障有り。	C	○	
減速機	⑤	No.2減速機油温計故障有り。交換が必要です。	B	○	
電気関係	⑥	電気室一号制水扉開度指示計故障。交換が必要です。	C	○	
流入ゲート	⑦	No.2 流入ゲート開動作時に過トルク検知。整備が必要です。	C	○	
沈砂掻揚機	⑧	2号水中軸上下故障ランプ点灯、砂堆積の疑いあり。	C	○	
天井水銀灯	⑨	2灯 点灯せず	C		○
沈砂水平搬入機	⑩	現場盤、電流計故障。交換が必要です。	C	○	
冷却水ポンプ	⑪	No.1ポンプ揚水能力が落ちています。今後の経過を観察します。	B	○	
	⑫	絶縁が低下しています。No.1 0.4MΩ No.2 0.7Ω No.3 1.5MΩ	B	○	
床排水ポンプ	⑬	絶縁が低下しています。No.1 2.0MΩ No.2 1.6MΩ	B	○	
機場名	浜松ポンプ場				
機器名	番号	不良内容	重要度	機能	外観

6 附帯、任意事業について

6.1 終末処理場の防災拠点化

任意事業における地域貢献の一環として、終末処理場管理棟の防災拠点化について、市の地震・防災課、建設課の担当者と協議を行った。

平成30年10月に行われた「第2回競争的対話」の中では、地震・防災課の見解として以下のようになっている。

「終末処理場管理棟の防災拠点化は、市の防災計画上有効である。高台（高速道路上）は一次避難所になっており、津波が引いた後は二次避難所に移動することとなる。このため二次避難所で使う資材（ストーブや扇風機など）を備蓄してほしい。」

今後、本件を具体的に進めるため、再度、地震・防災課の方で、管理棟に備蓄する資材の種類、数量等を最新の制度内容等を基に検討して頂くこととなっている。

7 その他連絡事項

- 1) 次回定例会日程について